

Book Review

動画で体感！ ステップアップ歯周外科 2 部位別編

安東俊夫 著



Reviewer

倉富 覚、 Satoshi Kuratomi
(福岡県・くらとみ歯科クリニック)

A4 判変, 160 頁
カラー
定価 11,000 円
医歯薬出版刊



2013年に安東俊夫先生が出版された「動画で体感！ステップアップ歯周外科」は私の歯周外科のバイブルである。それまでも、多くの図や写真が掲載されている歯周外科関連の書籍は多数あったが、DVDに収録された動画によってまさしく「体感」できることは、当時としては革命的な出来事であった。著者の長年の臨床経験から選りすぐられた器具・器材や切開や縫合、基本的な各術式の詳細が収められたこのDVDを幾度となく観たものである。

安東先生とはその当時ですでに15年来のお付き合いをさせていただいており、“あの安東先生”が素晴らしい書籍を出版されたことに感動したことを覚えている。というのも安東先生は故・下川公一先生が主宰されていたセミナーの1期生であり、毎週のように下川歯科に見学に来ては怒られていたお姿を、当時下川歯科の代診だった私は間近で目撃していたからである。「よく毎週毎週、好き好んで怒られにえられるものだな。よほどのM男な

んだらう」と心の中で思っていた。(これは安東先生も私に対して思っていたかもしれないが。)しかし、安東先生が見学に来られると、下川先生は症例のことでヒートアップされる割に、すこぶるご機嫌だった。おそらく、診療を休んで毎週来られる安東先生の情熱と臨床家としての着実な成長を感じておられたからだと推察する。それからメキメキと頭角を現され、下川セミナーのインストラクターや経基臨塾の会長を務め、下川先生が全幅の信頼を寄せる歯周外科の大家になられた。

その安東先生が待望の続編を上梓され拜読したところ、期待を上回る内容であった。今回の書籍では、臨床で遭遇する頻度の高い術式が治療部位別に網羅されている点が1つの特徴である。読者は歯周外科を予定している部位の章を開けば、類似した多くのケースを目にすることになり、術前に自分が行う歯周外科のイメージを掴めることになる。また、単なる治療経過の解説ではなく、初診時の状態から読者に治療方針を問うスタイルも大変勉強に

なる。当然、自分の答えと著者のアプローチが違うケースもあるのだが、著者がいかに多くのことを考察し、その術式を選択したのかという背景が詳細に示されている。また、ほとんどのケースで全顎的な初診時の状態と中長期的な経過まで提示されていることは圧巻である。QRコードによって手元の端末で動画を視聴できることも大変ありがたい。

安東先生は、スタディグループPABCを主宰され後進の指導にもご尽力されている。数年前にPABC10周年の発表会に呼んでいただいたが、会員が文字通り一体となっている雰囲気から心から感動し、その場にいられたことを幸せに思った。その独特の空気感には、安東先生の指導者としてのお人柄によるものだろう。定期的で開催されている歯周外科のハンズオンセミナーも、人が人を呼び満員御礼が続いていると聞く。歯周外科の上達を望む先生は、直接指導を受けることで本書と前書の理解をより深いものにできるのではないだろうか。